



ほけんだより



朝晩だけでなく、日中も肌寒くなってきました。11月8日は“立冬”で、暦の上では冬になります。冬への準備期間になるこれからは、健康管理に気をつけて風邪の予防も積極的に行っていきましょう。

“インフルエンザの予防接種について”

※赤ちゃんの接種は？

生後6ヶ月を過ぎたらインフルエンザの予防接種を受ける事は、嘱託医の先生も推奨しています。赤ちゃんは接種をしても免疫を付ける事が難しく、効果が出づらいとはいえ、打たないよりは可能性ががあります。インフルエンザにかかる可能性は誰にでもあり、子どもとお年寄りでは重症化しやすく、また、子どもが自発的に発症させる病気ではないという事を頭に入れ、積極的に接種を受けましょう。

※2回目は必要？

子どもは大人より免疫力が低いので、2回打って効果を上げます。1回打った時の10倍の効果があるとも言われています。

※卵アレルギーがある場合は？

ワクチンには極微量の卵製品が含まれています。接種前にアレルギーの有無を医師に伝え判断を仰ぎましょう。重度のアレルギーでなければ大丈夫と言われていますが、皮内テストを行っている病院で検査をしてから受けるとよいでしょう。

【溶連菌感染症が流行るかも！？】

以前は猩紅熱と言われていたウイルス性の感染症です。12月の冬のピークに向けて、患者さんの増加傾向があるそうです。気をつけましょう。

潜伏期間 2~5日

感染経路 飛沫・接触感染

- 症状
- ・突然の発熱、喉の痛み
 - ・いちご舌（舌がいちごの表面のようにブツブツになる）
 - ・全身に小さくて赤い発疹が出る

11月の0歳児の検診は、

11月21日（木）11:00~です。

（全クラス身体測定を行います。）

10月に全園児対象の健康診断を受ける事ができなかったお子様は、11月に受けますのでお休みをしないように気を付けましょう。

【インフルエンザに注意しましょう！】

都内では、葛飾区が流行の目安となる基準に達しています。12月からの流行に備え、まずは手洗いうがい、咳エチケットを心掛けましょう！

嘱託医の先生から…

賛育会病院では、RSウイルスの患者さんが見られますが終息に向かっています。これからはさらに感染症の流行する季節に入ります。体調に気をつけて過ごしましょう。

